株式会社 エム・システム技研

取扱説明書

計装用プラグイン形変換器 ***M•UNIT*** シリーズ

ピークホルダ　PH / PHS

このたびは、エム・システム技研の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

概　要

主な機能と特長

●入力信号の最大値または最小値を保持する ●デジタル入力指示計付を用意（保持信号の確認可能） ●入出力間非絶縁形と絶縁付を用意 ●密着取付可能

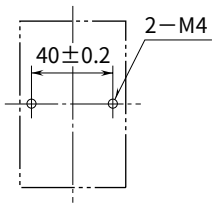
アプリケーション例

●電力使用量の最大値を保持させコンピュータに取り込む ●気温、大気汚染濃度の最大値最小値の保持

設　置

設置には次のような場所をお選び下さい。
●屋内で、周囲温度が -5 ～ +60℃の場所
●湿度が 30 ～ 90 %RH で、結露しない場所
●雨や水のかからない場所
●腐食性ガス、粉塵や振動のない場所
取付は、壁取付または DIN レール取付が行えます。
壁取付は下図の要領で行って下さい。

取付寸法図（単位：mm）

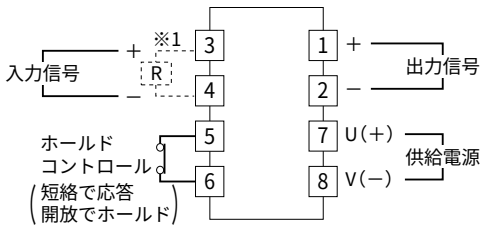


・密着取付可能

接　続

各端子の接続は下図の要領で行って下さい。
レベルの低い信号やインピーダンスの高い信号の配線にはシールド線またはツイスト線を使用して下さい。

端子接続図



※1、電流入力時は入力抵抗器(R)が付きます。

調　整

弊社では入力に対して基準精度内に調整して出荷しております。校正するときは端子番号⑤－⑥を短絡し、次の要領で行って下さい。
①模擬入力信号を 0 % 相当値に設定し、ZERO で出力を 0 % に合わせます。
②模擬入力信号を 100 % 相当値に設定し、SPAN で出力を 100 % に合わせます。
③再び、模擬入力信号を 0 % 相当値に設定し、ゼロ出力を確認して下さい。
④ゼロ出力がずれているときは、①～③の操作を繰返して下さい。

点　検

①端子接続図に従って結線がされていますか。
②供給電源の電圧は正常ですか。
端子番号⑦－⑧間をテスタの電圧レンジで測定して下さい。
③入力信号は正常ですか。
入力端子③＋、④－間に正常な電圧が現れているかテスタの電圧レンジで測定して下さい。
また、入力と出力が対応していない場合には、端子番号⑤－⑥間が確実に短絡されているか確認して下さい。
⑤出力信号は正常ですか。
負荷抵抗値が許容負荷抵抗を満足するか確認して下さい。

雷対策

雷による誘導サージ対策のため弊社では、電子機器専用避雷器＜エム・レスタシリーズ＞をご用意致しております。併せてご利用下さい。

保　証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。